

## 12. ヒデちゃん、お誕生日おめでとう

ヒデちゃん、お誕生日おめでとう。

すごいよね。

ヒデちゃんの誕生日、ヒデちゃんが生まれたことに感謝してお祝いの気持ち伝える人が、毎年ずっと増え続けているんだからね。

数えきれない人たちがヒデちゃんのことを想う・・・その素晴らしさを感じながら、今年も誕生日の今日、ヒデちゃんへ手紙を書くね。

9月に、真由子ちゃんのお母さんとジョージが企画したイベントがあったよね。

MAYUKO Forever ～真由ちゃん10回忌。

僕も参加してお話とピアノを皆さんにお送りしたでしょ。

あの時ね、僕の参加が決まって、ステージで伝える話の内容を考えていたら、気づいたんだ。

ヒデちゃんが真由子ちゃんを支えることを始めた頃はさ、もう僕はヒデちゃんのそばにいなかったんだ、ってことを。

『美しい記憶』に書いた通り、僕がよく知ってる「ヒデちゃん」は、スーパーロックスター「hide」になる前・・・そう、一緒に過ごしたXの「HIDE」の、素顔のことだから。

その、僕の知ってるヒデちゃんが、とにかく優しさの塊だったことを、みんなに伝えることにした。

だってそのヒデちゃんの優しさがさ、真由子ちゃんを支えるhideの姿、そのものだったから。

そのことをみんなに伝えたんだよね。

本当の優しさの意味・・・かな。

僕が、ヒデちゃんの気持ちをほんの一部だけど引き継ぐように、時々真由子ちゃんと一緒に時間を過ごすようになったのは、2006年からだった。

夏、レモネードカフェに行って、真由子ちゃんとお父さんお母さんと初めて会ってからは、たくさん話をして、ライブをやって、みんなで一緒に花火をする・・・そんな日を時々過ごすようになって。

僕のふざけた話や変な動きを見て、真由子ちゃんが嬉しそうに笑うのを見るのが楽しかったな。

あの時は、ヒデちゃん見てた？

だってさ、ヒデちゃんも僕の変な様子を見てゲラゲラ笑うの、好きだったから。

それから何度か和歌山に行って楽しい時間を過ごした。

海のきれいな和歌山が、まるで自分の故郷みたいな気持ちになったこともあった。

行くのはいつも夏だったし。

そうそう、東京でも2009年の5月、X JAPANのライブの時に、みんなでゆっくりお茶したりしたな・・・あの時は真由子ちゃん頑張ったな。

SUGIZOが素晴らしい演奏をするX JAPANのステージを、真由子ちゃんが観ることができて、本当に良かった。

最後の夏はその2009年だった。

暑い毎日が続く和歌山で、ライブも花火も思い切り楽しんだのだけどね・・・

その後、東京へ戻って1ヶ月半くらい経った時、お母さんから連絡が入ったんだ。

すぐに和歌山へ向かった。

さっきヒデちゃんに「見てた？」って聞いたのはさ、

あの日はヒデちゃんが見てるの、ちゃんとわかったからなんだ。